

「令和 6 年度 四国地方整備局

管内技術・業務研究発表会」について（報告）

■ 企画部 企画課 ■

「令和 6 年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を 7 月 30 日、31 日の 2 日間、高松サポート合同庁舎にて開催しました。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年に続き一般聴講を発表会場 3 カ所からの同時ライブ配信によるオンライン聴講並びに後日、録画配信としました。

開会にあたり、豊口局長から「皆さんは、プロジェクトの一部分を担当している立場にあると思いますが、発表資料をまとめることでプロジェクトの意義、背景、プロジェクトの中での自分の位置づけが分かってくると思います。自分の仕事を認識することで視野を広めるとともに、技術力の向上にも繋がります。また仕事に対するやりがい、モチベーションにも繋がっていくのではないかと思います。この発表会が、発表者、聴講者それぞれの技術力の向上、そして組織力の向上に繋がっていくことに期待します。」との挨拶がありました。

発表会では、イノベーション部門、アカウントビリティ部門、一般部門の 3 部門から 58 題の発表（※投稿数は 60 題）について、2 日間で 700 名を超えるオンライン聴講のもと、発表と活発な質疑が行われました。発表会は 2 日目プログラム終了後、大原次長兼総務部長からの閉会挨拶で締めくくりました。

最後に、業務多忙の中、開催にご協力いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げます。



豊口局長
開会挨拶



第①会場の様子



第②会場の様子



第③会場の様子



大原次長兼総務部長
閉会挨拶